



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 ソレキア株式会社  
 コード番号 9867 URL <http://www.solekia.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 義和  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 宮崎 雅司  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03- 3732- 1132

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	4,300	14.8	137		131		10	
29年3月期第1四半期	3,744	14.6	256		267		194	

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 10百万円 ( %) 29年3月期第1四半期 194百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	11.61	
29年3月期第1四半期	223.65	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	11,058	5,683	51.4
29年3月期	12,614	5,727	45.4

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 5,683百万円 29年3月期 5,727百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				50.00	50.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	5.6	280	8.1	290	11.5	280	97.9	322.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	1,016,961 株	29年3月期	1,016,961 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	151,902 株	29年3月期	149,679 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	865,790 株	29年3月期1Q	868,144 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、安定した為替・株価動向や堅調な雇用・所得情勢を背景に、個人消費が緩やかに改善し、企業業績も生産増、欧州・米国向けの輸出の増加、公共投資の増加、インバウンド需要の持ち直しなどから、緩やかな回復基調が続きました。

企業のICT投資につきましては、IT基盤の整備・充実など戦略投資への意欲の高まりの他、デジタル化の進展によりモノのインターネット(IoT)、AI(人工知能)などの技術進歩が注目を集め、企業や社会に様々な変革をもたらしつつありますが、需要の本格的な増大には至っておりません。

このような経営環境のもと、当社グループの第1四半期連結累計期間の売上高は、システム更新商談の増加や産業機器メーカーの需要増などにより情報通信機器、電子デバイスの売上が増加し、システム開発案件の受注も増加したため、43億円(前年同期比14.8%増)となりました。

損益面につきましては、売上高の増加とシステムエンジニアやフィールドサービスの稼働が向上したことにより営業損失は前年同期比1億19百万円減少の1億37百万円(前年同期は2億56百万円の営業損失)、経常損失は前年同期比1億35百万円減少の1億31百万円(前年同期は2億67百万円の経常損失)となり、投資有価証券売却益(特別利益)の発生により親会社株主に帰属する四半期純利益は10百万円(前年同期は1億94百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

「首都圏」は、産業機器の組込み用やシステム更新の需要が増加したほか、システム開発案件の受注も増大したため情報通信機器、電子デバイス、システムエンジニアリングサービスなどの売上が増加したことから、売上高は25億34百万円(前年同期比18.3%増)となりました。

損益面につきましては、売上の増加とシステムエンジニアの稼働改善により、営業損失は前年同期に比べ25百万円減少の1億16百万円(前年同期は1億41百万円の営業損失)となりました。

「東日本」は、医療機関のシステム商談やメーカーのシステム更新需要による情報通信機器の売上増加、フィールドサービスの受注拡大により売上高は9億49百万円(前年同期比10.5%増)となりました。

損益面につきましては、売上の増加とフィールドサービスの稼働向上により前年同期に比べ48百万円改善し、営業利益22百万円(前年同期は25百万円の営業損失)となりました。

「西日本」は、医療機関や公共施設向けシステムの受注増加から情報通信機器やシステム開発の売上が増加し、売上高は7億83百万円(前年同期比12.7%増)となりました。

損益面につきましては、売上高の増加により、営業損失は前年同期に比べ41百万円減少の17百万円(前年同期は58百万円の営業損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、15億56百万円減少し、110億58百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が4億66百万円、仕掛品が78百万円、電子記録債権が57百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が19億79百万円、商品が1億63百万円減少するなど、流動資産が15億30百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、15億11百万円減少し、53億74百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が13億13百万円、賞与引当金が2億59百万円減少するなど、流動負債が14億94百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、44百万円減少し、56億83百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が33百万円減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績の状況等を勘案した結果、業績は概ね見込どおりに推移しており、平成29年6月29日に公表いたしました平成30年3月期の連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,501,093	3,967,838
受取手形及び売掛金	5,351,901	3,372,423
電子記録債権	150,485	208,210
商品	910,277	747,227
仕掛品	81,032	159,412
その他	228,001	236,061
貸倒引当金	△1,952	△963
流動資産合計	10,220,838	8,690,209
固定資産		
有形固定資産	1,098,108	1,100,333
無形固定資産	86,386	76,313
投資その他の資産		
投資有価証券	317,745	308,395
敷金及び保証金	453,437	453,309
繰延税金資産	377,521	370,477
その他	66,757	65,718
貸倒引当金	△6,646	△6,643
投資その他の資産合計	1,208,814	1,191,257
固定資産合計	2,393,310	2,367,904
資産合計	12,614,148	11,058,113
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,122,461	1,809,172
短期借入金	1,114,142	1,114,000
未払法人税等	150,556	24,678
賞与引当金	366,500	107,400
受注損失引当金	—	961
その他	623,733	826,253
流動負債合計	5,377,394	3,882,465
固定負債		
長期借入金	50,000	50,000
役員退職慰労引当金	89,246	89,246
退職給付に係る負債	1,304,235	1,287,593
資産除去債務	65,298	65,520
固定負債合計	1,508,781	1,492,360
負債合計	6,886,175	5,374,826

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,293,007	2,293,007
資本剰余金	2,359,629	2,359,629
利益剰余金	1,252,846	1,219,533
自己株式	△252,353	△263,985
株主資本合計	5,653,129	5,608,184
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,492	100,619
為替換算調整勘定	△23,648	△25,516
その他の包括利益累計額合計	74,844	75,103
純資産合計	5,727,973	5,683,287
負債純資産合計	12,614,148	11,058,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	3,744,306	4,300,112
売上原価	3,183,989	3,615,842
売上総利益	560,317	684,270
販売費及び一般管理費	816,833	821,780
営業損失(△)	△256,516	△137,509
営業外収益		
受取配当金	8,007	4,798
その他	4,344	4,112
営業外収益合計	12,351	8,911
営業外費用		
支払利息	1,767	1,907
為替差損	20,833	730
その他	670	432
営業外費用合計	23,270	3,071
経常損失(△)	△267,435	△131,669
特別利益		
投資有価証券売却益	—	175,702
特別利益合計	—	175,702
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△267,435	44,032
法人税、住民税及び事業税	8,090	8,090
法人税等調整額	△81,365	25,891
法人税等合計	△73,275	33,981
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△194,160	10,051
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△194,160	10,051

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△194,160	10,051
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,584	2,127
為替換算調整勘定	13,526	△1,868
その他の包括利益合計	△57	258
四半期包括利益	△194,217	10,309
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△194,217	10,309



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,142,155	859,705	695,399	3,697,261	47,045	3,744,306
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,271	—	114	4,386	90,946	95,332
計	2,146,427	859,705	695,513	3,701,647	137,991	3,839,638
セグメント損失(△)	△141,878	△25,905	△58,841	△226,626	△1,228	△227,855

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	△226,626
「その他」の区分の利益	△1,228
セグメント間取引消去	99
全社費用(注)	△28,761
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△256,516

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,534,275	949,854	783,590	4,267,720	32,392	4,300,112
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,844	—	435	4,280	69,030	73,310
計	2,538,120	949,854	784,026	4,272,001	101,422	4,373,423
セグメント利益又は損失(△)	△116,021	22,148	△17,780	△111,653	△8,608	△120,261

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	△111,653
「その他」の区分の利益	△8,608
セグメント間取引消去	301
全社費用(注)	△17,550
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△137,509

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。